

解説しよう！

# 広島市心身障害者福祉センター ボランティア講座について



## 点訳講座

点訳ボランティアとは、視覚に障害のある方のために、墨字（活字）で書かれている書籍や雑誌、広報誌、新聞などの内容を“点字にして伝える”ボランティアです。触る文字である点字は、生活をしていくなかで情報を得るための大切なツールです。点字には一定のルールがあり、それに則って、「分かち書き」をしたり点を打ったりします。

講師は当センターで活動している点訳サークル「ひかり」のメンバーです。私たちの身の回りにある点字探しから、優しく丁寧に教えてくれ、講座修了後の活動にもつなげることができます。コツコツと点を打つ感覚もやみつきになりますよ！

やりたいと  
思った時に  
スタート！

レッツ  
チャレンジ！

初めの一步、  
踏み出そう！

音訳ボランティアとは、視覚に障害のある方のために、墨字（活字）で書かれている書籍や雑誌、広報誌、新聞などの内容を“音声にして伝える”ボランティアです。音訳は、聞き手（視覚障害者）が情報を得るために利用するものなので、内容が正しく伝わるように、書いてあることを書いてある通りに読まなければなりません。そのため、音訳ボランティアは視覚に障害のある方の「目の代わり」となって、情報を声で伝えることが大切になります。

本講座では、スピーチクリニックサロンから講師を招き、発声やアクセントなどを学び、当センターの行事での館内アナウンスを経験することができます。また、当センターで活動している2つの音訳サークルの紹介もします。

## 音訳講座

## 手話入門講座

聴覚障害者のコミュニケーションにはいくつかの方法があります。伝えたい内容を紙に書いてやりとりする筆談、身振りや手指を使って意志を伝達する手話、指の形と動きで50音を表現する指文字、話者の唇を読み取る読唇など。中でもスピーディなコミュニケーションの手段として最も多く使われているのが「手話」です。

入門講座では、当センターで活動している手話サークル「たんぽぽ」のメンバーが講師で、手話の魅力や楽しさを教えてくれます。サークルへの移行もスムーズに出来、長く手話の勉強を続け、聞こえない方々との交流、手話通訳の実践など活動を広げていくことができます。



## 手話基礎講座

基礎講座は、入門講座を終了し、手話の勉強を積み重ねたい人向けです。テキストは入門講座から引き続き使用することができます。外部講師を招き、手話文法などを学習することで頭の中が整理され、よりわかりやすい手話表現が出来るようになり、聞こえない人とのコミュニケーションがますます楽しくなりますよ。